令和3年度第2回スマホサミットの概要(令和3年11月20日開催)

【児童生徒からの提言】

- ◆ネットの依存性をなくすために
 - ・保護者等の協力や、<mark>使用時間</mark>を含めた使い方等に係る<mark>ルールの必要性</mark>
- ◆ネットをかしこく使うために
 - ・デメリットや ^{危険性} について理解を深める必要性
 - ・SNS等で

 人間関係のトラブルを防ぐ

 ため、相手の状況を配慮する必要性

【大阪市スマホサミット ネットスローガン】

- ① 人間関係 「 言葉のトゲをなくそう ~サボテンからタンポポへ~ 」
 - ⇒ ネットでのやりとりは表情が見えない分、言葉の使い方に注意が必要
- ② 使用時間 「 戻せない 後悔のない ひとときを 」
 - ⇒ スマホ、ネット使用に費やす時間に対する注意喚起・ネット以外においても後悔のない 時間の過ごし方を考えることが大切
- ③ **危険性** 「再確認 ~その情報 ほんまにあってる?~」
 - ⇒ 手軽に入手できる情報を簡単に信用せず、事実であるかを確認することで危険を回避

スマホの適切な使用に向けた各校での取組推進に向けて

【1】各小・中学校へスマホサミットの結果を展開

- ◆スマホサミットで決まったスローガンについて周知。 ①人間関係 ②使用時間 ③危険性
- ◆スマホサミットでの議論内容等、児童生徒が考えるための情報を提供。
 - ・大阪市スマホサミット活動報告書
- ・当日発表資料
- ・スマホサミット新聞(代表校が作成)
- ・アンケート集計結果

- ・チャレンジテスト分析結果等
- ◆ P T A 協議会から保護者に向けた発信

【2】各小・中学校での取組を展開

- ◆スマホサミットでの議論内容をもとに、各校において児童生徒自身が考える機会をもち、スローガンで取りあげた3観点について、**自校の「使用ルール」を策定**する。
- ◆そのほか、学校独自のスローガンを作成するなど、学校の実情に応じた取組を進める。



家庭へも学校の「使用ルール」を周知し、家庭での使用に関する話し合いに繋げる。

令和4年度 ブロック化による学校支援事業 実施要領 (第3教育ブロック)

1 事業の趣旨

学力の涵養に向けて、ブロック内の区担当教育次長が協議し、教育ブロックごとの課題や実情に 対応したきめ細やかな支援を行う。

2 成果指標

第3教育ブロックの小中学校において、令和7年度の全国学力・学習状況調査の全ての教科で、 平均正答率の全国平均をめざす。

3 事業内容

読解力及び思考力・判断力・表現力の育成等、第3教育ブロックの課題を踏まえ、次に示す I ~ V の取組を設ける。

(事業の概要)

(事業の概要)		
取 組 名		主 な 内 容 等
I 学力向上	A 基本配付 B 誰一人取り残さない学力の向上	・A 全校に配付 ・B①~④にあてはまる取組を各校で実施 ① 授業改善の取組 ② 基礎学力向上に向けた取組 ③ 読解力育成に向けた取組 ④ 個別最適な学びと協働的な学びの取組
Ⅱ 外国籍児童生徒等への支援		・日本語指導が必要な児童生徒の在籍する学校が 希望した場合のみ予算配付 ・日本語指導が必要な児童生徒への指導にかかる 教員への研修
Ⅲ 不登校対策		・西成区の小中学校(悉皆)と希望する小中学校の 小学6年生と中学1年生に学級診断アセスメント 「hyper-QU」を実施 ・「hyper-QU」の活用方法にかかる研修(実施し た児童生徒の学級担任対象)
IV 生活指導		・児童生徒の問題行動への対応にかかる教員研修 及び事例研究等の実施
V 生活習慣·学習習慣		・保護者向け啓発プリント及び効果的事例の発信